



山はみどり 野に花 人にはこころ

ふたつとを自まつて

中峰神社

寛政年間(二百三十年位前)藤八という村人が他界し、後に天狗になって倉沢の火防守護をするといわれて藤八権現として祭られたといわれます。安政五年六月(百十六年前)この辺りを襲った山津波により記録が流出し、由緒は不詳ですが、昔は富士浅間大菩薩といい、明治維新後社殿が東・西・倉沢の中峰にあるので、中峰神社と改められました。

祭神 木花之開耶姫命
祭日 四月三・四日

戦争中は武運の神として近郷近在からの参詣人で賑わいました。
昭和四十八年四月

倉沢区
倉和会
ボランティアグループ

